

## アウトプットしてみよう!

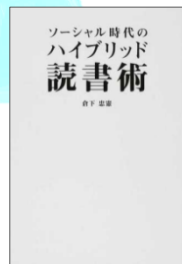
進学や就職など、春は人生の節目となるイベントが盛り沢山の季節です。期待や不安を胸に新生活を始めた方も多いのではないのでしょうか。新年度のスタートであるこの季節は、習い事や読書など新しい習慣を身につける絶好のチャンスです。新しい何かを始めることで、人と接する機会も増え、新たな情報に触れることもあるでしょう。

テレビや新聞で得た情報や人から教わった知識は、自分で体験したり人に伝えたりすることで、より理解を深めることができます。学んだことを自分だけの知識として終わらせないためにも、日ごろから考えたことを整理し、発信する習慣を持つことが大事です。本の内容や映画の感想、趣味の活動などについて人と直接話すのはもちろんですが、最近ではブログやツイッターといった SNS を使った方法で、より多くの人に発信することができるようになりました。

「書く」「話す」「発表する」など手段は様々ですが、頭の中で漠然と考えていることを外に出し、人と共有することで、これまでとは違った発見や気づきを得ることができます。みなさんも、新しい環境の中で学んだこと、感じたことを発信してみたいはかでしょうか?



『読書は  
「アウトプット」が99%』  
藤井 孝一/著  
三笠書房  
B019.1 フ



『ソーシャル時代の  
ハイブリッド読書術』  
倉下 忠憲/著  
シーアンドアール研究所  
2階一般 019.1 ク



『発信力の育てかた』  
外岡 秀俊/著  
河出書房新社  
Y002.7 ソ

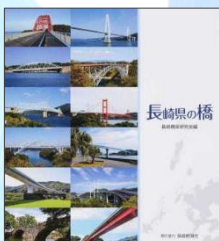
本は読む(インプット)だけでなく「アウトプット」することで、もっと血となり肉となる! 「話す」「書く」「行動する」の3つを基本に、普段の思考や行動に磨きをかけるアウトプット読書術を紹介する。

読書が苦手な人や、たくさん本を読んでいるものの、あまりその成果が感じられない人に向け、自分を成長させる読書術を紹介。ソーシャルリーディングなど、新しい読書の可能性についても言及する。

すべての人が発信者になる時代がきた! 情報収集術・取材術・編集術・発信術…プロのコツさえ学べば、伝える力はぐんぐん伸びる! 元朝日新聞の記者が、世界とつながるためのスキルを伝授する。

## 新刊ピックアップ

最近の新刊の中らいちおしの本を紹介!



『長崎県の橋』  
長崎橋梁研究会/編  
長崎新聞社  
N515 ナ

長崎県にある60の橋の写真を地域ごとに収録。著名な石橋や歴史的近代橋梁はもとより、長崎県の離島と半島の交通の利便性を考えて造られた多彩な形式・表情の橋の姿も紹介します。簡単な地理情報も掲載。

本のある場から生活のうまれる場へ

## 人とつながる・まちとつながる 子育てワークショップ

人生に数え切れないほどある選択。小さなことから、その後の岐路を大きく変えてしまうようなことまで。生きていくことは、日々選ぶことでもあります。ところが、私たちが何かを選ぶとき、テレビで観たから、〇〇先生が言っていたから、みんながそうしているからといったことを、理由にはしていないでしょうか。

図書館は、よりよく生きるために情報を手に入れ、さらにその中から自分の軸を基に必要なものを選び、かけ合わせ、使えるようにする場です。しかし、情報が溢れ人間関係が希薄になりつつある現代においては、自分の軸を確立することさえ困難になっています。市民の知の拠点である図書館では、そうした状況からどうやって自分の考えを広げていけるか、判断する軸をつくっていけるのかを、対話による人と人とのかけ合わせの中でみつけていく図書館情報サービス・ワークショップを実施しています。

今年1月から3月にわたって、職業能力開発への対応と、地域の知的資源の新しい組合せから発想する働き方をテーマに「わたしたちのワークシフト 働くことを考えるワークショップ」を、子育ての問題は地域で解決するをテーマに「人とつながる・まちとつながる 子育てワークショップ」を開催しました。特に、子育てワークショップでは4回を通して「図書館で考える暮らしと子育て」「自分の生き方」「子育てがスタイルになるとき」「子育てに優しい未来の長崎」と視点を変え、参加者同士、子育てを基軸に自分自身の生き方や社会の在り方について想いや考えを語り合いました。「人の話を聞いて考えが広がった」「友達同士では出せないような本音で話すことができた」「世代が違ってても共通している想いがある」など、考えや経験をかけ合わせる中で様々な気づきや発見が生まれました。

図書館にあるのは本だけではありません。そこで出会う人、出会いから生まれる経験、知識、考えるヒントなど、いくつもの情報が集まりつながる学びの場として、生涯にわたり皆様に活用していただけるような図書館づくりを目指していきます。



※長崎市立図書館の新しい取り組みについて「あしたのコミュニティーラボ」(<http://www.ashita-lab.jp/>)で取材されました。ぜひご覧ください。

「あしたのコミュニティーラボ」は、社会をより豊かに変えていく人たちのためのイノベーションプラットフォームです。

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時  
NHK 総合「イブニング長崎」のコーナーで放送中！



『美味しい櫻』  
平出 真/編著  
旭屋出版  
K596.3 ヒ

桜スイーツの仕掛け人が、食べる・見る・知るをテーマに、さまざまな桜の魅力に迫ったビジュアル本。

毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM (81.3 MHz)  
「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『何が起きても命を守る防災減災BOOK』  
ゆうゆう編集部/編  
主婦の友社  
2階一般 369.3 ナ

大事な家族を守り抜く知恵や、どうしたら命を守る行動ができるのか…。いざというときのために、すぐに実行できる防災の知恵とアイデアを紹介。

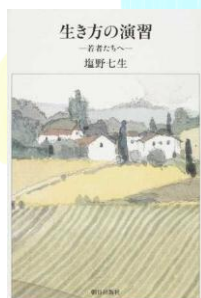
## ブック・リレー

### 「はじまりのとき」

いよいよ4月！新生活に胸が高鳴りますね。

最初に紹介するのは、これから人生の大海原に飛びだそうとする若者へ向けた『生き方の演習』。若くしてイタリアへ渡り、客観的に日本を見ることに長けている彼女のアドバイスは、若者だけでなく、かつて若者だった人へのエールとしても読むことができます。

次に紹介するのは、ヒトではなくモノの「はじまりのとき」が盛りだくさんの『国産はじめて物語』です。Part2まであり、国産初の白黒テレビ、世界初の缶コーヒーなど昔懐かしいモノ、今もモデルチェンジして活躍しているモノたちの開発秘話を集めています。思わぬきっかけで生まれたアイデアをカタチにする開発者たちの努力。モノづくり日本の底力を再認識するとともに、現代に生きる私たちにも元気を与えてくれます。  
(司書 矢口 育美)



『生き方の演習』  
塩野 七生/著  
朝日出版社  
F914.6 シオ



『国産はじめて物語 Part1』



『国産はじめて物語 Part2』

2冊とも、  
レトロ商品研究所/編  
ナナ・コーポレート・  
コミュニケーション  
J675.1 コ

⇒次回5月号ブック・リレーのテーマは「日々を生きる」です。



# 今月のイベント・展示

## イベント

3日	日	大きい子向けおはなし会
7日	木	定期上映会「スクールオブブロック」(昼)
		あかちゃんおはなし会
14日	木	小さい子向けおはなし会
15日	金	定期上映会「ラスベガス万才」(夜)
17日	日	YA(学生)ボランティア説明会&研修会
		大きい子向けおはなし会
21日	木	定期上映会「スクールオブブロック」(夜)
23日	土	子ども読書の日おはなし会
28日	木	小さい子向けおはなし会
30日	土	定期上映会「ラスベガス万才」(昼)
5月1日	日	大きい子向けおはなし会
5月5日	木	あかちゃんおはなし会

※イベントの詳細は、館内のポスター・ちらしまたはホームページで確認できます。

## 展示

### 1階展示

- 1階特集 ながさき暮らし。—新生活応援BOOK—
- 1階ミニ 生誕120年！宮沢賢治
- 児童特集 はるがきた
- 児童ミニ おおきくなあれ！(～4/11)
- 児童ミニ おかあさん・おとうさん(4/13～6/15)
- YA特集 Enjoy★スクールライフ(～6/15)
- YA投稿 しおりデザインコンテスト(～5/9)

### 2階展示

- 2階特集 ながさき暮らし。—長崎をもっと好きになる本集めました—  
長崎県美術館連動展示
- ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの華(～5/29)